

## 弘南寮会設立趣意書

我々が青春のひと時を共に学び共に過ごした弘南寮（工学部第四寮）は、昭和 22 年（1947 年）に第 1 回の卒業生を送り出して以来、平成元年（昭和 64 年 - 1989 年）に最終回生を送り出し、その歴史に幕を下ろしました。

この間 42 年、実に 425 名の若者がこの寮から巣立っていきました。弘南寮は、今はもう姿を消して形を残していませんが、そこで過ごした年月の思い出は、我々弘南寮 OB の心の中に、今でも鮮やかに生き続けています。

かつて弘南寮がきらきらと輝いていた時期があったこと、闇の中に埋もれかけたその記憶と歴史は、是非語り継ぎ残していきたいものです。

弘南寮を中心とした OB 間の交流は、過去 20 年間に 7 回の懇親会・旅行会が不定期に、その都度有志幹事により企画・実行されてきました。しかし、まとまった形での実行組織的なものはありませんでした。

開寮以来すでに半世紀を超え、全体として OB の高齢化が進むこの時にあたり、共に文庫の地で過ごし、寮歌“流るる雲に行く水に”を高吟した思い出を共有する者が集まり、旧交を暖め、また先輩・後輩の絆を確かめ合えるようなまとまった場が欲しい、との声が有志の間で高くなってきました。併せて、卒業以来長い間、様々な社会で各自培ってきた知恵を出し合い助け合い、また共に余暇を楽しむ場を持ちたい、との願いもあります。

そのような流れの中で、ここ数年来有志の間で時に応じ、種々意見交換がなされてきましたが、弘南寮 OB 会の中核として、組織化された弘南寮会を設立し、それを中心に交流を広げ、多くの行事（懇親会・旅行会・趣味の会など）を行えるようにしようとの考え（添付会則参照）がまとめられ、去る平成 18 年 2 月 21 日 千葉のホテルに発起人一同集い、設立準備会を開催しました。そして、添付会則にある弘南寮会発足の運びとなりました。

弘南寮会の目的は、会則にありますように、横浜国立大学工学部第四寮（弘南寮）OB の交流・親睦とその活性化を図ることにあり、四寮の OB であれば入退会は自由です。また年会費などを徴収しない（現時点）組織ですので、同封の返信書に入会時必要事項を記入の上多くの OB が参加されることを希望いたします。

尚、弘南寮会活動の一環として、昨年 7 月にホームページを開設しておりますので、下記の URL からアクセスしてご覧下さい。また、

ホームページの名簿欄にありますように、住所の判らないOBが約4割にのほりますので、お知り合いのOBの方で名簿に住所の記載されていない方がいらっしゃいましたら、本弘南寮会発足のことをお知らせ下さるようお願い致します。

<http://geocities.jp/goodmemories0816/index.html>

平成18年4月吉日

弘南寮発起人一同

発起人氏名

小菅 勝 (31-電工)、竹内哲夫 (31-造船)、田中茂利 (33-電工・幹事代表)、山本道夫 (33-機械・幹事)、代市義行 (34-機械・幹事)、  
嵐 雅彦 (34-電化・幹事)、本多 進 (34-電化)、山  
之内克彦 (34-機械)、小松崎皖 (36-造船)、大石昌明 (36-機械)、  
片山篤範 (36-機械)、高石周志 (36-電工)、猪原暉雄 (37-造船・  
ホームページ管理担当)、高橋千穂 (37-応化)、秋山正樹 (38-建築)、  
稲田浩一 (38-電工)、岡部善憲 (38-建築)、久米範佳 (38-造船)、  
田中征夫 (38-機械)、深作三郎 (38-応化)、渡辺 博 (38-電化・  
幹事)、山田耕治 (39-機械)、竹内章二 (39-機械)、萩原  
好敏 (40-金属)、外池久雄 (40-建築)、砂押 進 (47-化工・幹事)

平成30年4月からURLが下記に変更になりました。

→ <http://kohnanryou.sakura.ne.jp/yonryou/>